

|         |   |    |            |
|---------|---|----|------------|
| 科目名     | 比較生涯学習概論B   | 学期 | 2015年度 秋学期 |
| 担当者     | アール キンモンス   |    |            |
| テーマ     | 欧米と日本における生涯学習の比較  |    |            |
| 授業の概要   | 主に英国・米国を例にとり日本と異なる生涯学習の発展と現状を整理することによって、歴史と文化の相違から生じる多様な生涯学習のタイプを明らかにする。  |    |            |
| 授業の到達目標 | 諸外国における生涯学習との比較を通して、日本の生涯学習の特徴と社会的背景を理解し説明が出来る。<br><br>外国の事例が日本の事情に適しているかどうかの評価出来るようになる。  |    |            |
| 授業形態    | 講義形式で主に教員が講義する。   |    |            |
| テキスト    | なし。   |    |            |
| 参考文献    | 逐次指示する。   |    |            |
| 評価方法    | 試験(80%)、通常点(20%)  |    |            |
| 前提科目    |   |    |            |
| 授業計画    | 1 授業： 授業の紹介<br>2 授業： 授業のテーマ<br>3 授業： 米国における学校教育と学校外教育の歴史的発展<br>4 授業： 米国における成人教育・生涯教育の現状(1)<br>5 授業： 米国における成人教育・生涯教育の現状(2)<br>6 授業： 英国における学校教育と学外教育の歴史的発展<br>7 授業： 英国における成人教育・生涯教育の現状<br>8 授業： 失業対策としての生涯教育(英国・米国)<br>9 授業： 失業対策としての生涯教育(北欧)<br>10 授業： 失業・再就職対策としての生涯教育(日本)<br>11 授業： 生涯教育機構としての軍隊・刑務所<br>12 授業： 校舎なしの教育—英米におけるインターネット<br>13 授業： 校舎なしの教育-日本におけるインターネット<br>14 授業： 生涯学習道具としてのスマホ・タブレット・電子書籍端末<br>15 授業： 試験の答え合わせ |    |            |